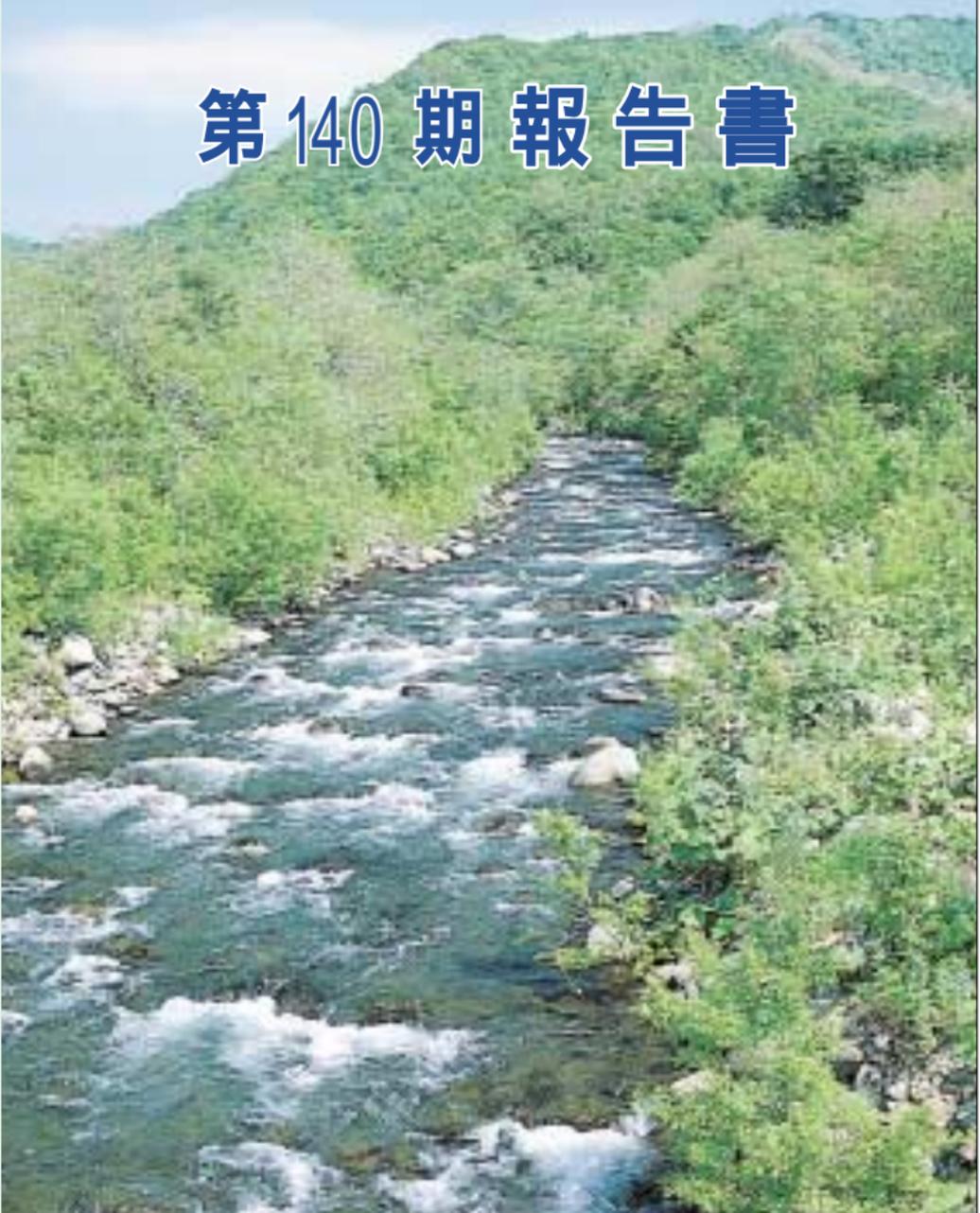


第140期報告書



平成19年4月 1日から
平成20年3月31日まで

ENSHU
エンシュウ株式会社

株主のみなさまへ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国向けを中心とした輸出の伸長に支えられ、景気は回復基調を続けてきたものの、原油・原材料価格の高騰、更には米国のサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱や急激な円高により、景気の減速傾向が強まってまいりました。

このような情勢の中で、当社グループは顧客ニーズに応え得る新製品開発や生産コスト削減を推進するとともに、国内外に積極的な販売活動を展開してまいりました。

しかしながら、売上高は工作機械関連事業部門および輸送機器他関連事業部門とも減少し、連結売上高は45,419百万円(前期比5.1%減)となりました。

また、利益につきましても売上減少に加え棚卸資産評価損の計上により連結営業利益は前年を大幅に下回り43百万円(前期比97.7%減)となり、連結経常利益は、為替差損等により655百万円の損失となりました。連結当期純利益は繰延税金資産の取崩等もあり2,948百万円の損失となりました。



代表取締役社長

中安 茂夫



今後も厳しい経営環境が予想される中、収益力の向上に向けた更なる企業体質強化が求められています。

当社グループといたしましては、平成18年4月より中期経営計画をスタートさせ、「お客様から選ばれ続ける」企業を目指すことを基本方針として、基盤固めから安定的成長に向け全社ビジネスバランスの改善・改革に取り組んでおります。また、併せて財務体質の強化も図っております。

その他、内部統制については、平成20年4月より内部統制会議を発足させ、リスク・コンプライアンス管理等の統制の強化を図ってまいります。

当社グループといたしましては、安定した経営基盤の確立に、全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第140期の配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分ではなく期末配当は無配とさせていただくことといたしました。

平成20年6月

事業の概況

平成19年4月1日から平成20年3月31日に至る当社第140期の事業概況等についてご報告申し上げます。

部門別の概況

工作機械関連事業部門

当連結会計年度における工作機械業界(日工会)の受注総額は1兆5,939億円となり、平成14年度以降6年連続のプラスとなりました。内需(前年比1.5%減)は前年を下回りましたが、外需(前年比17.5%増)は前年を上回りました。

そのような中で工作機械事業では当社グループの強みであるシステム機械を柱に自動車関連業界を中心として国内外に積極的な営業活動を展開し、拡販に努めてまいりました。

その結果、受注につきましては主要顧客の自動車関連業界の国内設備投資に回復の兆しがみられ増加しました。売上高につきましては海外販売子会社は増加しましたが、システム機械の一部物件の出荷が翌期にずれ込んだこともあり前年を下回りました。

また、光関連事業につきましては光技術をコアとして浜松ホトニクス株式会社と連携、協業を推進してまいりました。販売体制を強化し営業支援のための加工技術の向上、用途開発にも取り組み、特に高出力半導体レーザー加工機につきましては自動車部品を中心とした溶接、切断、焼入れ分野に実用機としての納入実績が増加してまいりました。

その結果、受注高は前年を上回ることができましたが、売上高は大型物件の減少により前年を下回り、採算的には引き続き厳しい状況となっております。

以上の結果、工作機械関連事業部門の売上高は22,987百万円(前期比1.2%減)となり、営業利益は一部システム機の海外物件の採算悪化及び棚卸資産評価損の計上等により274百万円の損失となりました。

現在、受注は堅調に推移しておりますが、グローバル化の進展で海外需要が増大し、海外戦略の重要度が増



オイルパン加工ライン

しております。特にシステム機械の海外向け大型物件の増加により様々なリスクが増加し採算管理が課題となります。管理体制の充実と統制の強化を図っていきます。営業部門では海外販売子会社を中心に販売体制を強化していきます。特にアジア地域は丸紅株式会社との提携により拡販に注力していきます。

また、依然として顧客の納期要求や価格競争は厳しく、さらに原材料価格が上昇しコストアップが懸念され、更なる原価低減と生産性向上が求められています。技術部門ではシステム機械周辺装置の標準化や仕様の見直し等によりコストダウンを図り、また、マシニングセンタの商品開発も強化します。製造部門では平成18年4月よりスタートしたTPM活動をベースに生産性向上によるリードタイムの短縮、また、調達部門の強化や海外調達の拡大による原価低減にも取り組みます。

光関連事業におきましては、高出力半導体レーザー加工機の認知度が高まり引合いも増えてきましたので営業力の強化や加工技術の向上により販売拡大を目指します。また、浜松ホトニクス株式会社および大学との連携により研究・開発を引き続き推進してまいります。

輸送機器他関連事業部門

当連結会計年度におきましては自動車部品の生産は増加したものの、北米向け大型二輪車及びバギー車用エンジン部品の生産減少により、売上高・利益ともに前年を下回りました。

以上の結果、輸送機器他関連事業部門の売上高は22,431百万円(前期比8.9%減)、営業利益は343百万円(前期比62.8%減)となりました。

今後につきましては、北米の景気減速による影響で大型二輪車及びバギー車用のエンジン部品の仕事量が減少し環境は厳しさを増しております。営業力強化による自動車関連の新規製品の取入れを拡大させるとともに、TPM活動を基軸に一層の工場改善を推進し原価低減に努めてまいります。また品質向上に向けての体制の強化、仕組みづくりや世代交代のための人材育成にも取んでまいります。



シリンダブロック加工ライン

EMOショー 2007

東京のJIMTOF、シカゴのIMTSと並び世界三大工作機械見本市のEMOショー(欧州国際工作機械展)が、2007年9月17日～22日迄、ドイツ・ハノーバーの国際見本市会場で開催されました。42カ国・地域から1,200社が出展、来場者も166,000人と大変盛況でした。

当社からは、「JE60G」、「JE80S5 軸仕様 + 350 本ツールマガジン」「JE100」の3機種3台を出展し、会場にて多くのご成約を頂き、成果のある展示会となりました。



横形マシンングセンタ
JE80S 5軸仕様



横形マシンングセンタJE100

メカトロテックジャパン2007

～「広まる」「極まる」中部のモノづくり～

「メカトロテックジャパン2007」が2007年10月17日～20日の4日間、ポートメッセなごや(名古屋国際展示場)で行われました。国内外から377社が出展し、来場者9万3千人余名の盛況の中、当社からは6kW 半導体レーザー搭載の「新型L1」機、新型3kWファイバ伝送型半導体レーザー搭載「Ljunior」機を出展しました。「高品位な溶接」の実演を行い多数の来場者から好評を得ました。



高出力半導体レーザー溶接システム L1

連結 売上及び受注の状況

売上高

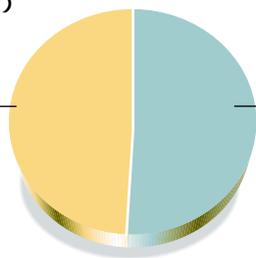
45,419 百万円

(うち海外 12,927 百万円)

輸送機器他関連事業

49.4%

22,431 百万円



工作機械関連事業

50.6%

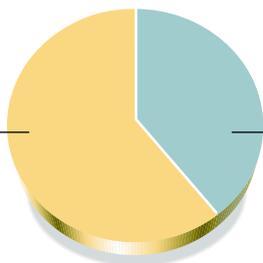
22,987 百万円

工作機械関連事業の受注高

26,338 百万円

海外
60.8%

16,001 百万円



国内
39.2%

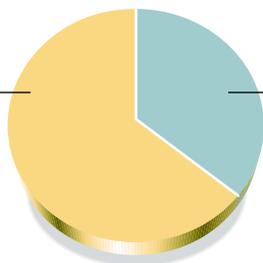
10,337 百万円

工作機械関連事業の受注残高

15,360 百万円

海外
64.0%

9,837 百万円



国内
36.0%

5,523 百万円

連結 第137期~第140期 業績の推移

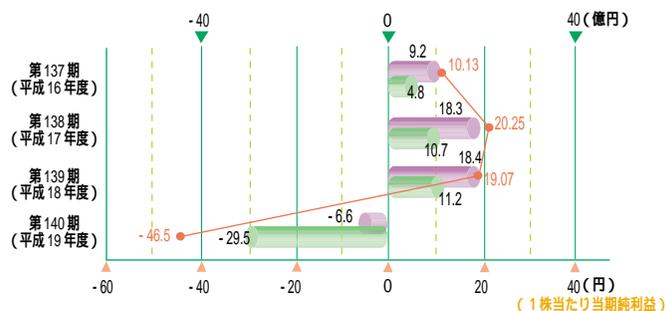
売上高

海外 国内



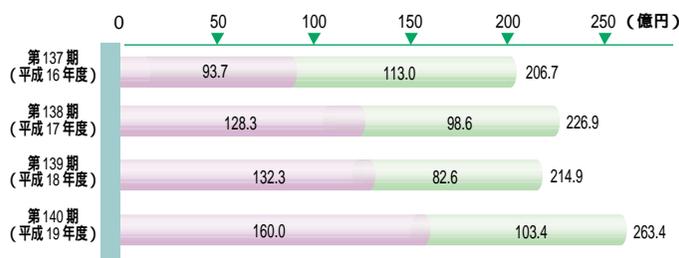
利益

経常利益 当期利益 1株当たり当期純利益



工作機械関連事業の受注高

海外 国内



連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

項 目	金 額
(資産の部)	
流動資産	24,279
現金及び預金	1,096
受取手形及び売掛金	9,483
有価証券	92
たな卸資産	11,031
繰延税金資産	47
信託受益権	1,742
その他	822
貸倒引当金	35
固定資産	16,406
有形固定資産	16,106
建物及び構築物	2,505
機械装置及び運搬具	5,386
土地	7,475
建設仮勘定	359
その他	379
無形固定資産	22
投資その他の資産	278
投資有価証券	153
その他	216
貸倒引当金	91
資産合計	40,686

(単位:百万円)

項 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	18,761
支払手形及び買掛金	11,037
短期借入金	5,423
未払法人税等	61
賞与引当金	375
その他	1,864
固定負債	12,615
長期借入金	7,790
再評価に係る繰延税金負債	2,109
退職給付引当金	2,275
役員退職慰労引当金	114
その他	326
負債合計	31,377
(純資産の部)	
株主資本	5,945
資本金	4,640
資本剰余金	3,053
利益剰余金	1,707
自己株式	41
評価・換算差額等	3,293
その他有価証券評価差額金	14
繰延ヘッジ損益	4
土地再評価差額金	3,203
為替換算調整勘定	79
少数株主持分	70
純資産合計	9,309
負債及び純資産合計	40,686

連結損益計算書

自平成19年4月1日
至平成20年3月31日

(単位：百万円)

項目	金額	
売上高	45,419	
売上原価	42,373	
売上総利益	3,046	
販売費及び一般管理費	3,002	
営業利益	43	
営業外収益		
受取利息	14	
受取配当金	3	
負ののれんの償却額	0	
持分法による投資利益	6	
質貸料	48	
その他	66	139
営業外費用		
支払利息	294	
為替差損	401	
その他	142	838
経常損失		655
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別損失		
固定資産売却損	3	
固定資産廃棄損	69	
投資有価証券評価損	6	
役員退職慰労引当金繰入	209	
持分変動損失	13	301
税金等調整前当期純損失		955
法人税、住民税及び事業税	172	
過年度法人税等	45	
法人税等調整額	1,768	1,986
少数株主利益		5
当期純損失		2,948

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自平成19年4月1日
至平成20年3月31日

(単位：百万円)

項目	金額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,828	
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,596	
財務活動によるキャッシュ・フロー	227	
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	
現金及び現金同等物の減少額	492	
現金及び現金同等物の期首残高	3,247	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15	
現金及び現金同等物の期末残高	2,770	

連結株主資本等変動計算書

自平成19年4月1日
至平成20年3月31日

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	4,640	3,053	1,711	31	9,375
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			475		475
当期純損失			2,948		2,948
自己株式の取得				10	10
連結子会社の増加による増加			4		4
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	3,419	10	3,429
平成20年3月31日残高	4,640	3,053	1,707	41	5,945

	評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	38	3	3,203	51	3,290	11	12,676
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							475
当期純損失							2,948
自己株式の取得							10
連結子会社の増加による増加							4
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	23	0	-	28	3	58	62
連結会計年度中の変動額合計	23	0	-	28	3	58	3,367
平成20年3月31日残高	14	4	3,203	79	3,293	70	9,309

個別貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(単位: 百万円)

項 目	金 額
(資産の部)	
流動資産	21,867
現金及び預金	817
受取手形金	751
売掛金	8,331
製品	691
半製品	317
原材料	523
仕掛品	7,734
貯蔵品	95
関係会社短期貸付金	100
信託受益権	1,742
その他	773
貸倒引当金	10
固定資産	16,739
有形固定資産	16,080
建物	2,366
構築物	139
機械及び装置	5,375
車両運搬具	15
工具、器具及び備品	350
土地	7,475
建設仮勘定	359
無形固定資産	22
電話加入権	9
施設利用権	13
投資その他の資産	635
投資有価証券	90
関係会社株式	366
関係会社出資金	70
従業員長期貸付金	25
長期滞り債権	89
長期前払費用	14
積立保険	48
その他	22
貸倒引当金	91
資産合計	38,606

項 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	16,982
支払手形	3,068
買掛金	6,614
短期借入金	5,423
未払金	1,143
未払費用	89
未払法人税等	22
未払消費税等	38
前受金	19
預り金	37
賞与引当金	375
固定資産代支払手形	129
その他	20
固定負債	12,581
長期借入金	7,790
再評価に係る繰延税金負債	2,109
退職給付引当金	2,275
役員退職慰労引当金	114
預り保証金	285
その他	6
負債合計	29,564
(純資産の部)	
株主資本	5,829
資本金	4,640
資本剰余金	3,053
資本準備金	3,053
利益剰余金	1,823
その他利益剰余金	1,823
繰越利益剰余金	1,823
自己株式	41
評価・換算差額等	3,213
その他有価証券評価差額金	14
繰延ヘッジ損益	4
土地再評価差額金	3,203
純資産合計	9,042
負債及び純資産合計	38,606

個別損益計算書

自平成19年4月1日
至平成20年3月31日

(単位：百万円)

項 目	金 額	
売 上 高		42,246
売 上 原 価		40,550
売 上 総 利 益		1,695
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,425
営 業 損 失		729
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	14	
受 取 配 当 金	66	
賃 貸 料	48	
そ の 他	63	193
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	291	
為 替 差 損	327	
そ の 他	138	758
経 常 損 失		1,294
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	0	0
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	3	
固 定 資 産 廃 棄 損	69	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	6	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入	209	287
税 引 前 当 期 純 損 失		1,582
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	9	
過 年 度 法 人 税 等	45	
法 人 税 等 調 整 額	1,517	1,572
当 期 純 損 失		3,154

個別株主資本等変動計算書

自平成19年4月1日
至平成20年3月31日

(単位：百万円)

	株 主 資 本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
平成19年3月31日残高	4,640	3,053	3,053	1,806	1,806	31	9,469
事業年度中の変動額							
剰余金の配当				475	475		475
当期純損失				3,154	3,154		3,154
自己株式の取得						10	10
株主資本以外の項目 の事業年度中の変動額 (純額)							
事業年度中の変動額合計	-	-	-	3,629	3,629	10	3,640
平成20年3月31日残高	4,640	3,053	3,053	1,823	1,823	41	5,829

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	38	3	3,203	3,238	12,707
事業年度中の変動額					
剰余金の配当					475
当期純損失					3,154
自己株式の取得					10
株主資本以外の項目 の事業年度中の変動額 (純額)	23	0	-	24	24
事業年度中の変動額合計	23	0	-	24	3,664
平成20年3月31日残高	14	4	3,203	3,213	9,042

株式事項

(平成20年3月31日現在)

1. 株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,335,435株 (自己株式199,111を除く)
資本金	4,640,850,000円

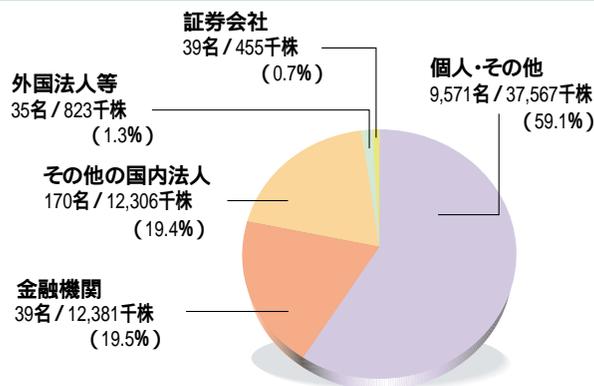
2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,456千株 (10.19%)
エンシュウ取引先持株会	4,373千株 (6.90%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.15%)
株式会社みずほコーポレート銀行	1,572千株 (2.48%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.29%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.23%)
株式会社損害保険ジャパン	1,363千株 (2.15%)
明治安田生命保険相互会社	1,197千株 (1.88%)
日本生命保険相互会社	1,169千株 (1.84%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社	1,012千株 (1.59%)

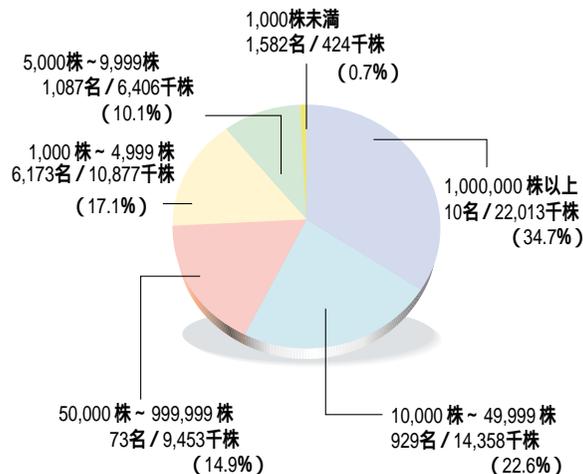
注) 比率は出資比率で表示しております。

3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計：9,854名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計：9,854名 / 63,534千株



4. 当期中の株式異動

名義書換件数	429件
名義書換株数	1,321,910株
当期末株主数	9,854名

会社の概況

商号

エンシュウ株式会社
英文 ENSHU Limited

設立 大正9年2月5日

資本金 46億4,085万円

発行済株式総数 63,534,546株

株主数 9,854名

従業員数 949名(連結)

本社及び本社工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888
電話 053 447-2111(代表)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788
電話 053 588-0211(代表)

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788
電話 053 588-4771(代表)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15
(スターハイツ)
電話 03 5479-1671(代表)

大阪支店 〒564-0063大阪府吹田市江坂町1-23-43
(ファサード江坂ビル)
電話 06 6338-2471(代表)

高崎サービスステーション 電話 027 372-8924(代表)

金沢サービスステーション 電話 076 291-4251(代表)

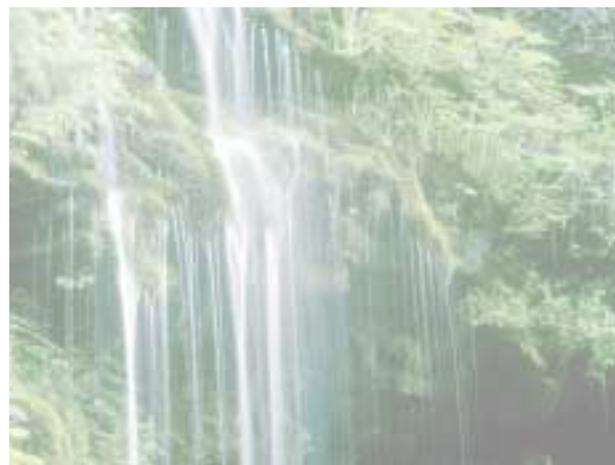
広島サービスステーション 電話 082 849-6424(代表)

海外現地法人 ENSHU (USA) CORPORATION (シカゴ)
ENSHU GmbH (フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited (バンコク)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd. (バンコク)

役員

(平成20年6月27日現在)

代表取締役社長	中	安	茂	夫
専務取締役	千	賀	伸	一
常務取締役	安	田	俊	二
取締役	中	村	泰	之
取締役	小	木	国	典
取締役	中	村	和	夫
取締役	仲	山	正	明
常勤監査役	松	山	美	廣
常勤監査役	澤	木	達	治
監査役	石	塚		尚
監査役	鈴	木	芳	男





エンシュウ株式会社

インターネット上にホームページを開設しております。

エンシュウ株式会社 <http://www.enshu.co.jp/>

ENSHU(USA)CORPORATION <http://www.enshuusa.com>